

ロラたちの闘いをつたえる



ドキュメンタリー映画『カタロウガン! ロラたちに正義を!』
(監督: 竹見智恵子、撮影・編集: 中井信介 / 2011年 / 69分) から。

フィリピンの日本軍「慰安婦」の女性たちによる正義を求める闘いをおさめたドキュメンタリー映画に、『カタロウガン! ロラたちに正義を!』(2011年制作)があります。

その監督をつとめた竹見智恵子さんがロラたちに出会ったのは、1992年。日本で裁判を提訴するためにマニラに集っていたロラたちは、心細そうに会場の隅に身を寄せ合い、弁護士の問いかけにもしどろもどろで答えていたそうです。そのロラたちが1年もしないうちに街頭で声をあげ、被害者からサバイバーへ、そしてアクティビストへと、たくましくチャームングに変化していきました。

そんなロラたちの姿を映像にのこそうと竹見さんが思いついたのは2010年、その撮影と編集を担ったのが中井信介さんでした。セミナーではお2人をお迎えし、ロラたちと一緒に過ごした日々、映像には残されていないつづきとともに、ロラたちの闘いを伝え、記録を残していく思いについてお話いただきます。

日 時: 2026年3月29日(日) 14:00~16:30

お 話: 竹見智恵子さん 中井信介さん

会 場: wam オープンスペース (定員40名/予約・先着順)

参加費: 1000円 (wam会員。非会員は1200円)



***オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(1か月)になります。**

お申し込みは左記二次元コードからGoogleフォームで。
wam事務局にメールをくださればURLをお送りします。
会場参加のみ電話での申し込みも可能です。

【ゲスト紹介】

たけみ・ちえこ: 1939年生まれ。コピーライターを経てジャーナリストに。教育や環境などの市民運動に携わり、1987年よりフィリピン・レイテ島の農村を支援するNGO「水牛家族」主宰。レメディオス・フェリアス『もうひとつのレイテ戦: 日本軍に捕らえられた少女の絵日記』(ブカンブコン、1999年)を出版するために尽力した。

なかい・しんすけ: 1967年生まれ。1993年からフィリピンのスラム街や米軍基地跡地の写真を撮り始め、新聞や雑誌で発表する。1999年からビデオ取材を始め、TBSの報道特集やNews23などで発表。フィリピン、韓国、マレーシアなど、アジア各地に足を運び、環境破壊や基地拡張闘争などと闘う人々を捉える映像を制作する。

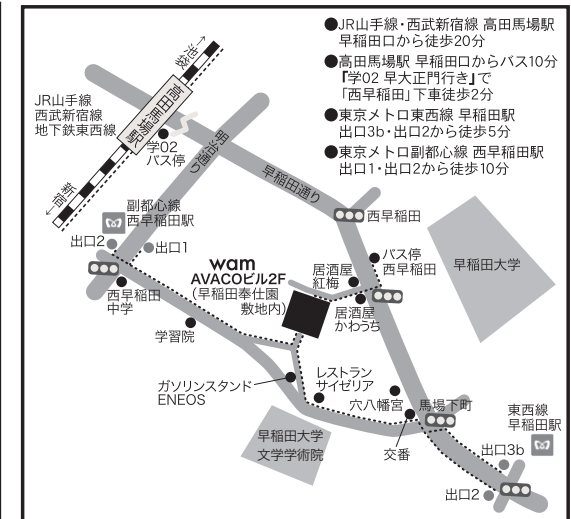
企画主旨

wam セミナー 日本軍「慰安婦」の聞き取りとその記録

1990年代に日本軍の「慰安婦」として性暴力被害を受けた女性たちが語り始めてから、30年以上が経ちます。この間、歴史を否定する政治家は後を絶たず、第2次安倍政権以降の日本政府は、政府として日本軍性奴隷制の事実さえ否定し、その見解を公的に主張するようになりました。一方で、何度も来日して、日本政府が事実を認めて謝罪と賠償をするよう語ってくれた女性たちも、その多くがこの世を去りました。

戦争での被害や加害の「記憶の継承」は世界的な課題ですが、記憶をどうつないでいくのかは、どの国・地域でも試行錯誤が続いており、wamもまた例外ではありません。日本軍から性暴力被害を受けた女性たちの「あったことを、なかったことにしないで」という遺言のような叫びを心に留めながら、性暴力の記録をどうアーカイブズとして公開できるのか、議論と検討を重ねています。

2005年の開館から20年、wamでは日本軍の「慰安婦」にされた女性、一人ひとりに出会えるように「証言パネル」を制作してきました。このような展示活動は、日本軍の「慰安婦」にされた女性たちの声を聞き取る作業を続けてきた、たくさんの支援者、研究者、ジャーナリストに支えられてきました。wamセミナー「日本軍『慰安婦』の聞き取りとその記録」では、被害証言を聞き取る作業を続けてきた方々から、お話を聞く機会をつくっていきます。



開館時間：金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日：火・水・木・祝日（天皇制由来の上記4日を除く）

※時間外の団体来館はご相談ください。

※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円
18歳未満 300円
小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円

●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター（年3回）のほかイベント案内などを逐次おしらせします。

維持会員は入館料無料。

各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「女たちの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館

women's active museum on war and peace

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOL 2F 〒169-0051

T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org

URL:https://wam-peace.org